

水道管の凍結にご注意を！

例年、寒波の影響による凍結により、水道管が破裂したという事例が多く見受けられます。水道管が凍ると、しばらく水が使えない、また水道管の修繕費用がかかるなど大変です。

【このようなときは水道管凍結に注意！】

■最低気温が-4℃以下になるとき

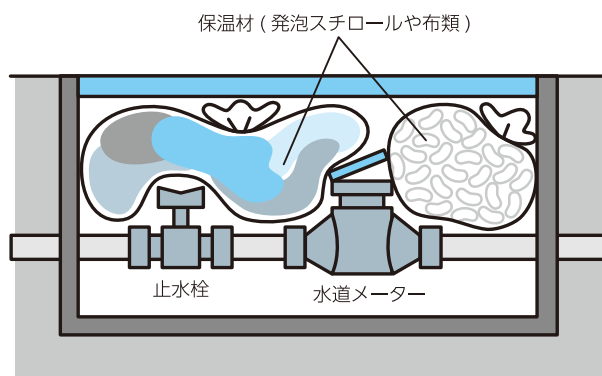
※ただし、日陰や風当たりの強い所、水道管が露出している所、また水道管が浅く地中に入っている所は-1℃以下でも凍ることがあります。こまめにテレビやラジオなどの天気予報で夜間の気温を確認しましょう。

■旅行などで数日間留守にするとき。またしばらく住まいから離れるとき

【水道管が凍結しないようにするには？】

■屋外の水道管・メーターボックス内の保温をする。

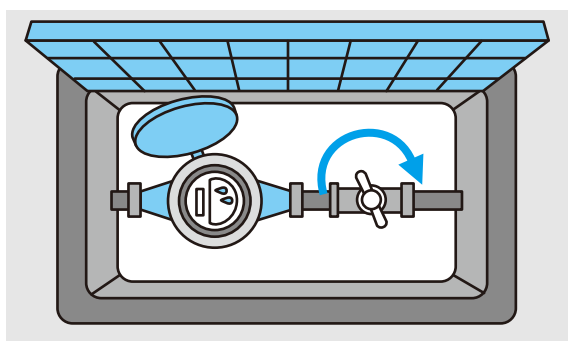
- 日陰や風当たりの強い水道管、温水器の水道管は凍結しやすいので、保温材や布などで保温をしてください。保温ヒーターを利用する方法もあります。
- メーターボックス内には、発泡スチロールなどを入れておくと保温材になります。
※メーターボックス内は土や泥など取り除きいつもきれいにしておいてください。



■止水栓を閉め、水抜きをする。

- 水抜きの方法 (数日間留守をする場合に有効)

①水道メーター手前のバルブを閉める。



②蛇口から水またはお湯を出し切り、水道管を空にする。



■蛇口を少し開けておく

- 夜間、蛇口を少し開けておく (水が糸を引く程度) ことで凍結を防ぐことができます。
※水資源の保護のためにバケツなどに水をためて再利用しましょう。

【もし水道管が凍結してしまったら…】

水道管が凍ってしまった場合、日中気温が上昇すれば水は出るようになります。

ただし、急いで水が必要な場合は以下の作業をしてください。

- 凍結箇所を見つけて、タオルなどで覆い、ゆっくりとぬるま湯をかける
※直接熱湯をかけないでください。水道管が破裂することがあります。
また、蛇口をむやみに開けないでください。蛇口のパッキンが劣化して、水漏れの原因になることがあります。



ご家庭の水道管は、皆さまの大切な財産となりますので、凍結防止のために事前対策をお願いします。

〈問い合わせ〉 環境対策課水道係 Tel (67) 3176